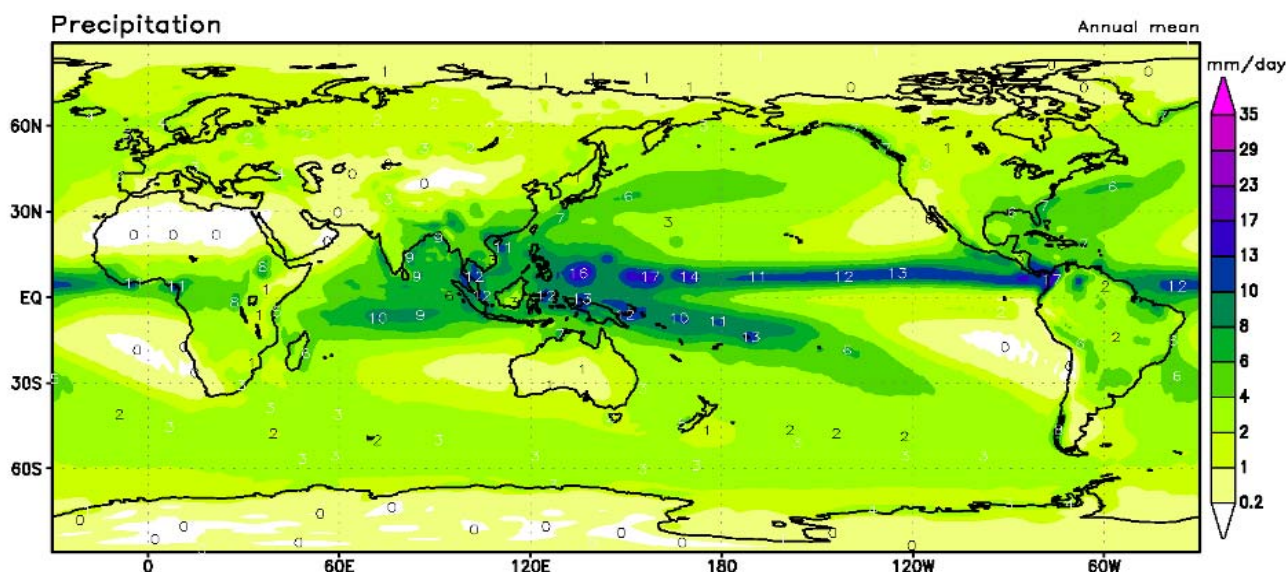


【例1】平均降水量

別紙



日降水量(mm/日)に換算した値を示したもの。

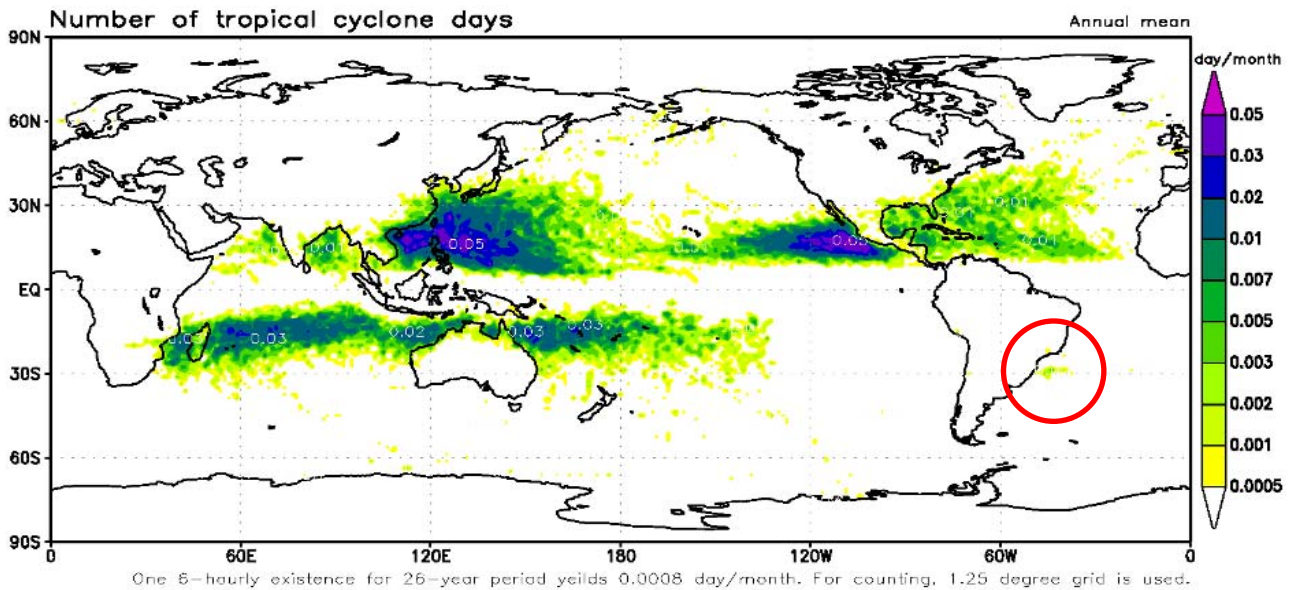
熱帯のインド洋から北西太平洋にかけて、多くの降水量が計算されており、この地域の特徴がよく表現されています。

降水分布は、GPCP(世界降水気候計画)による、衛星観測から推定された分布との整合性がこれまでの再解析データの中で最も優れており、水循環研究分野等における利用が期待されます。

また、理科年表の環境部に掲載されている年降水量の分布図は、平成19年度版からJRA-25データをもとに作成されています。

(注) GPCPは、WCRP(世界気候研究計画)のプロジェクトであるGEWEX(全球エネルギー・水循環観測計画)のサブプロジェクトであり、全球の月降水量データを作成している。

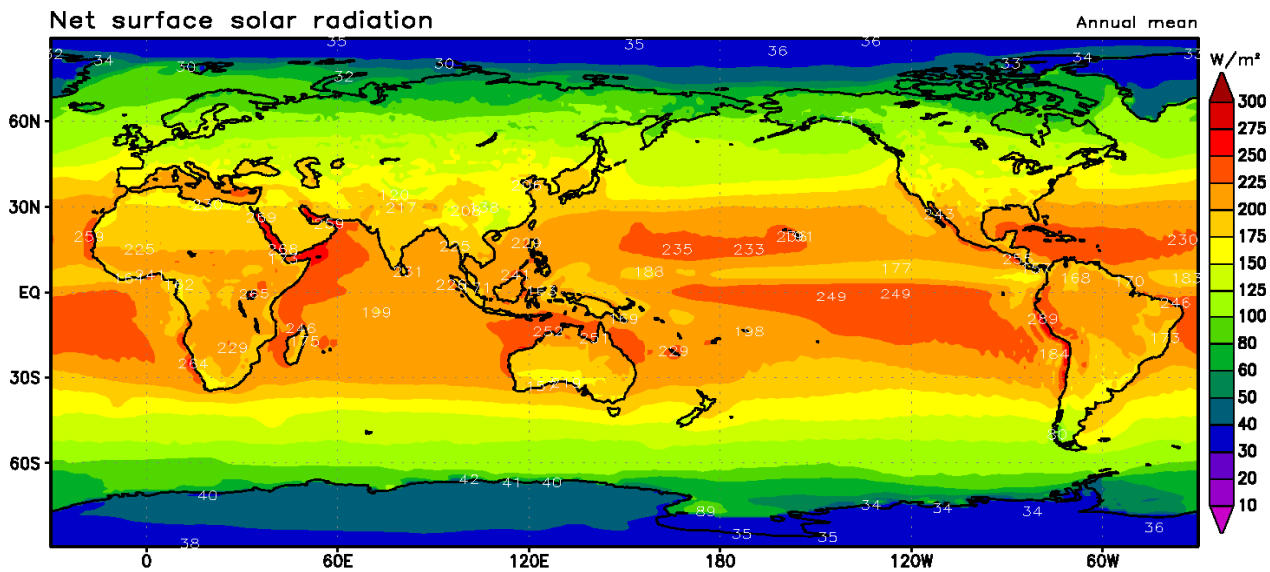
【例2】熱帯低気圧の分布



各月の熱帯低気圧(台風、ハリケーン等)が存在する日数の割合を平均したもの。

地域別の熱帯低気圧の分布、頻度の特長がよく再現されています。また、2004年3月に南大西洋で初めて観測されたブラジル沖のハリケーンも再現されています(赤丸部分を参照)。

【例3】平均日射量



地上における日射量 (W/m^2) の平均分布を示したもの。
本図は日本科学未来館で開催された企画展「65億人のサバイバル 先端科学と生きていく。」(2006年10月28日～2007年2月5日)に提供され、太陽光発電の可能性を探るブースで展示されました。